



THE JINZU LIONS

No.86

2017
7月号

7月20日発行

発行所/富山市桜木町10-10富山第一ホテル5F富山神通LCPR委員会

栄えあるアワード受賞

ガバナー大賞 受賞

『緑のオアシス富岩運河環水公園美化運動/子供達とソーラー船クルージングと国指定重要文化財水上エレベーター体験』

[ガバナー優秀賞] — レオクラブ活動賞

[功労賞] — L 田中 俊夫

[会員増強アワード(GMT)] — L 宮崎 忠一

[LCIF 献金アワード] — L 田中 俊夫



富山神通ライオンズクラブ スローガン



未来につなげよう 奉仕と友愛の輪



1 年間の任期を終えて

富山神通ライオンズクラブ会長 L 藤井 和夫

歴史と伝統ある富山神通ライオンズクラブの第 48 代会長を拝命して、この 1 年間歴代会長をはじめクラブメンバーの皆様方や関係各位の御支援、御協力によって、つつがなくクラブ運営をできたことに、心より感謝、御礼申し上げます。

今年度は「未来につなげよう奉仕と友愛の輪」のスローガンのもと、継続アクティビティ、松川べり清掃奉仕、長慶寺清掃奉仕、浮田家清掃奉仕はいづれも天候にも恵まれ、レオクラブの子供達、各地区老人会等、たくさんの方々への参加をいただき、気持ちよく奉仕活動が出来ました。

その他の事業としては青少年健全育成の一環として重度身体障害者の方々とパラリンピックの競技となっているポッチャをレオの子供達を交えて実施致しました。

又、一般市民である「仲井徳治様」より畑を提供して頂き、富山県立視覚総合支援学校の生徒達と芋掘り体験学習が出来ました。

今年度はライオンズクラブ 100 周年の記念すべき年であり、100 周年記念レガシーとして、富岩運河環水公園に「おおえぼしサクラ」を植樹し、メイン事業として「緑のオアシス富岩運河環水公園美化緑化運動・子供達とソーラー船クルージングと国指定重要文化財・水上エレベーター体験」を実施し、第 63 回地区年次大会にガバナー大賞を授与でき、さらに LCIF(MJF) 18,000 \$ 献金に協力頂き、重ねて関係各位並びにメンバーの皆様方に感謝申し上げます。

終わりに、私を支えて下さった尾島幹事、泉会計、稲垣 LT、宮本 T.T、各委員長の皆様方に心より感謝申し上げます。特に尾島幹事には 1 月の病気発覚から病気治療中にもかかわらず、毎日のように打合せ等、幹事職を全うしていただき、厚くお礼申し上げます。

今後も全員一同奉仕と友愛の輪をもって 49 周年、50 周年と奉仕活動に精進できますよう御祈念申し上げ、任期満了の挨拶と致します。

一年間ありがとうございました。

一年間の任期を終えて



幹事
L 尾島 正和

2016年度の幹事を務めさせて頂きましたが、春ごろからは治療の為、中々例会等に出席できず、申し訳ありませんでした。

わからない点も多数あり、多くの失敗もあり、皆様に教わり助けられながら何とか任期を終えることができました。助けて頂いた皆様、本当にありがとうございます。次年度は一年理事として、微力ではありますが努めてまいれる所存ですので、よろしくお願いいたします。

一年を振り返り



会計
L 泉 茂

本年度会計を任命され藤井会長、尾島幹事と共に神通ライオンズクラブの活動に当たらせて頂き貴重な経験と勉強をさせて頂きました。

一年を振り返り、自分はどれだけ活動に役立ったのかなあと反省しております。一年を通して多くの人に助けられ、教えられやり遂げられたと思います。

特に下半期尾島幹事が体調を崩され体もきつかった思われたのに一生懸命幹事の仕事をこなされていたのは感動しました。これからもライオンズクラブの役に立てればと思います。

一年間の任期を終えて



幹事
L 宮本 晴美

T・Tという役目をお受けして、今は正直に言って大変なお役目だったと、つくづく感じています。

人前で話すことが大の苦手な私にとって、とっても大変な事でした。

毎回緊張の連続で、皆様からお預かりしたドネーションの文面を、ただただ読み上げることで一杯一杯になり、終わった後は反省ばかりでした。

そんな私でも、なんとか目標に近づけたのは、皆様のご協力あってこそと、心より感謝と御礼を申し上げます。一年間本当に有難うございました。

一年間の活動を終えて



会員(GMT)委員長
L 若井 聡志

今年度、GMT委員長を務めさせて頂きましたが一番の重点目標であった会員増強に関しましては、わたくしの取り組みの力不足により、減少と言う結果に終わり申し訳ございませんでした。今後も一会員として会員増強また、一層楽しく魅力のある富山神通ライオンズクラブとなるよう協力していく所存です。

一年間ご協力頂きましてありがとうございます。

一年間の活動を終えて



FWT委員長
L 西野 久美子

私は、神通ライオンズに入会致しまして、3年目で初めてFWT委員長を務めさせて頂きました。

藤井会長、尾島幹事、泉会計、先輩の皆様には、大変お世話になりました。

何もわからぬまま時間だけが過ぎた様に感じられますが、そのような中でもFWT委員会セミナーで舟木内科医院長舟木淳先生に『胃・大腸内視鏡検査』の講演をして頂いたことが印象に残っています。

講演の参加者から、自分が内視鏡検査を受ける際にどの程度の痛発病であるかがわかりやすい内容だったと好評を頂きました。

たくさんの方に参加して頂き大変嬉しく感動致しました。又、この講演でL今村先生には大変ご尽力を頂きまして誠にありがとうございました。

たくさんの先輩方に支えられて勤めさせて頂いた一年間はあっという間でした。

最後になりますが、今後も富山神通ライオンの発展に努めてまいりたいと思います。



PHOTO NEWS

12月 Xmas家族例会



11月 企業献血



9月 街頭献血活動



8月 納涼例会



8月 早朝例会



一年を振り返り



視覚・聴覚・言語障がい者福祉委員長
L 田村 和子

平成28年10月28日に富山視覚総合支援学校「さつま芋掘り」事業をさせて頂きました。

参加は幼稚部・小学校部9名、先生が10名、畑を提供して頂いた仲井さん・ライオン10名の参加で全員30名でした。

全員元気で「さつま芋掘り」体験をして頂きました。

その後、公民館で杉村Lの協力で大学いもレモン煮を作って頂き、朝、仲井さんから頂いた朝取れの野菜「レタス・トマト・イチジク」でサラダを作り皆様に食べていただきました。

学校の方からお礼状が来て学校の皆様にも大変喜んで頂きました。又、私たちも子供達から大きなエネルギーを頂いて帰ってきました。ご協力頂いたライオンの皆様に感謝いたします。



8月4日 北日本新聞

一年間の活動を終えて



大会CN委員長
L 宮崎 忠一

昨年3月のある日、藤井会長と尾島幹事と3人で各委員長を決め、お願いをして打ち合わせ会に出席をする中で大会CN委員長の話が出ました。

私であれば受けさせて頂きたいと言います。藤井会長から「是非お願いします」との事。

二十二年前の中西会長の時に行なったという話をしながら受けた委員長でしたが、何もすることなく一年が過ぎました。

記念事業で富岩運河にオオエボシ桜を植栽し、その事業が環境保全でガバナード賞を受賞（5月20日第63回地区年次大会）したことが良かったと思いましたが（藤井会長を壇上に上げ表彰）。

これも、神通ライオンズクラブ全員のおかげだと思えます。有り難うございました。



10月22日(日)メイン事業



10月23日 北日本新聞

一年間の活動を終えて



社会奉仕・環境保全・ALERT委員長
L 岡田 晃

初めて委員長という責任ある役職を仰せつかり、どうなるのか不安でしたが、会長はじめ委員の皆様、レオクラブの方々にも多大なる協力を頂き、一年間無事に活動を終える事が出来ました。

数々の清掃活動を通じて、社会貢献及び、会員相互の交流が図れたと思います。

今後もしろいろな役職を経験しながら、ライオンズクラブの一員として精進していきたいと考えております。一年間ありがとうございました。



10月1日(土)伊田家清掃奉仕

7月17日(日)松川ベリ清掃奉仕



10月5日 北日本新聞

PHOTO NEWS

6月 年次例会



5月 CN48



4月 花見例会



2月 街頭献血活動



1月 新年例会



一年を振り返り



四献・糖尿病教育委員長
L 作村 伸

本年度、2回目の四献委員長を仰せつかりましたが、不甲斐ない委員長で申し訳ありませんでした。

主な役割はフオボーレでの街頭献血の呼びかけ、堀井鉄工様、KNB様での企業献血、薬物乱用防止指導員としての会合でしたが、参加できない日もあり、藤井会長はじめ役員の方に大変ご迷惑をおかけしました。

次年度はT・Tという大役を仰せつかり、今から緊張しておりますが、例会のメの役目であり毎回来てよかったですと思うような役割をしたいと思しますので、今後ともよろしくお願いいたします。

2017年度就任に寄せて



第一副会長
L 林 一博

歴史と伝統ある富山神通ライオンズクラブに入会させていただき26年目となりました。

第三副会長に指名頂いた頃は正直想定外の事で不安もありましたが引き受けた以上模範となるライオンズマンを目指した行動をとりたいと思います。

この26年間でいろいろな経験をさせていただいたその思いを今年のスローガン「深めよう相互理解と絆でワイサープ」とさせていただきたいと思えます。

メイン事業は未来を担う子供たちの健全な育成のため、自然との触れ合いを通じて森と水辺の生き物たちの生息・生育する環境に触れることにより命のつながりを学ぶこと、又ビオトープ事業が多いに発展することを願う「森と水辺の生き物たちとの命のふれあい体験」といたしました。

会員皆様のご協力ご指導宜しくお願い致します。

一年間の活動の振り返りと次期幹事として



L・T 次期幹事
L 稲垣 仁

2011年7月に入会し、早いもので7年目を過ぎようとしています。

諸先輩方の指導のもと、例会・各種事業に参加させていただき、少しはライオンズイズムを理解できるようになったと思っております。

本年度、藤井会長よりL・Tの大役を仰せつかった訳ですが、L・Tは次年度の幹事予定という事を知らされずに、同期入会の尾島幹事の補佐が出来ればと軽い気持ちで引き受けたわけです。

次年度、クラブ幹事として、林一博会長の『深めよう相互理解と絆でワイサープ』のスローガンのもと会員相互の絆を深めるように微力ながら頑張りたいと思っております。

会員そしてご家族皆さまのご健勝とご多幸を祈念申し上げますとともに、力強いご指導とご協力の程お願い申し上げます。

PHOTO NEWS

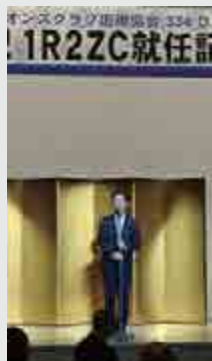
輝け! いのちの集い2016
9月22日(木)



高志ライフケアホーム入所者とのふれあいポッチャ教室
11月12日(土)



鋪田博紀1R2ZC就任
記念コンペ・懇親会 10月3日(月)



編集後記

暑い日が続いています、皆様お元気でお過ごしのことと思います。今年度はライオンズクラブ誕生100周年の祝年にあたり、桜の植樹や、重要文化財水上エレベーターをのこ子供達に体験させ語り伝えるという今後の100年にも残る事を願った事業を展開されました。

他、数々の賞を受賞されましたので紙面にご紹介させていただきました。本号の編集に当たりまして、会員の皆様からご寄稿をいただき発行に至ることができました。皆様方のご支援ご協力に厚く御礼申し上げます。(幹事:尾島)

